



情報の共有を通して、様々な活動の充実や発掘を目指しています。みなさんからの積極的な情報提供が、元気なまちを創るもとになるのでみなさんの思いと一緒に情報をお寄せください！

令和3年度 紀宝町ボランティア団体助成事業のお知らせ！

地域に根ざした活動をすすめるグループが、さらに活発に活動が展開できるよう支援するため助成金申請の募集を行います。

＜応募締切＞ 令和3年6月7日(月)

＜助成対象団体＞ 町ボランティア・市民活動センター登録している団体

＜助成金額＞ 1団体 上限2万円まで
(総額40万円)

＜応募方法＞登録団体代表者に申請用紙を送付します。申請書に必要書類を添えて提出して下さい。

＜対象内容＞

- ① 単年度事業(令和3年7月～令和4年3月の間にかかる経費)
- ② 研修会等の講師に支払う謝礼、交通費等(会員外へ必ず呼びかけ)
- ③ 研修会に参加する際の旅費、交通費等
- ④ 文房具などの消耗品
- ⑤ その他

＜問合せ・提出先＞ボランティア・市民活動センター事務局

(紀宝町社会福祉協議会)

時松・名取 32-0957



令和3年度 ボランティア市民活動センター総会について お知らせ

「令和3年度 ボランティア・市民活動センター総会」を5月11日(火)に予定し、準備を進めていましたが、新型コロナウイルスに感染した方が近隣市町で発生したことにより、急遽、開催を中止させて頂きました。当日参加を予定していた団体の方には「書面決議書」に意思表示を記載して頂き、総会決議に替えさせて頂く運びになりましたことを報告いたします。

当日予定していた感謝状贈呈式は、日程を改め行います。式の様子や受賞者のコメントは「社協だより7月号」に掲載予定です。

ボランティア活動保険の加入、 お忘れでないですか？



年々多様化しつつあるボランティア活動に対して、ボランティア活動保険の加入をおすすめしています。登録団体代表者や個人ボランティアの皆さんには3月に申込名簿を送付させていただいております。今一度確認していただき加入を希望される方はお早めに手続きを、お済ませください。

紀宝町社会福祉協議会より1人につき、200円の補助があります。

《年度途中からでも加入できます》

紀宝町ボランティア・市民活動センター

〒519-5701 紀宝町鶴殿 1074-1 紀宝町福祉センター

電話 (32) 0957 FAX (32) 0958

Eメール volunteer@kiho-shakyo.or.jp



掲載内容について
申し込み・おたずね
は左記へお問合せ
ください。



おもにボランティアグループや市民活動団体、NPO/NGO を応援する目的で行われる助成金の情報です。助成内容や応募条件、申請書の入手方法などは助成先によってことなりますので、助成先又は社協へ お問い合わせください。

☆太陽生命厚生財団事業助成☆

対象団体

地域福祉活動を目的とするボランティアグループ及びNPO 法人格の有無は不問（在宅高齢者等への地域公益事業・生活支援事業を行う社会福祉法人を含みます。

本年度は、コロナ禍の状況において「新しい日常」を念頭に置き3密を避けるための工夫や、感染防止への取り組みを積極的に行っている事業への助成も考えています。

申込締切

令和3年6月30日（水）必着

助成金額

1件10万円～50万円

助成対象となる事業

ボランティアグループ等が在宅高齢者または在宅障がい者のために福祉活動や文化活動を行うために必要な費用または機器、機材、備品等を整備する為の費用に対し助成する。

問合せ先 ☎143-0016

東京都大田区森北1-17-4

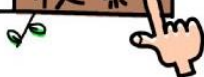
太陽生命大森ビル

公益財団法人 太陽生命厚生財団

事務局 TEL/FAX03-6674-1217

www/taiyolife-zaidan.or.jp

検索



☆丸紅基金社会福祉助成金☆

対象団体

- 申込者（実施主体）は、原則非営利の法人であること
- 明確な目的をもち、実施主体、内容、期間が明らかであること
- 助成決定から1年以内に実施が完了する予定のものであること

申込締切

令和3年6月30日（水）消印有効

助成金額

1団体200万円上限

総額1億円を目処として50件以上助成

選考基準

- 先駆的、開拓的な事業案件で、社会福祉の充実・向上に波及効果が期待できるものを優先する
- 緊急性が高いものを優先する
- 社会福祉事業に従事する人々の環境改善・向上に役立つものを優先する
- 直近3年度以内に当基金の助成を受けている団体からの申込は、優先度が低くなる。

問合せ先 ☎100-8088

東京都千代田区大手町1-4-2

社会福祉法人 丸紅基金

TEL03-3282-9541

www.marubene.or.jp

検索



運営委員の
つぶやき

新緑のまぶしい季節となりました。

皆様も初夏に向けてご活躍のことと思います。コロナの終息も、まだ先が見えませんが、「ぎぼらんせ」の活動このような時代に新しい活動のあり方を見つけていけたらと思います。交流の絆を大切に新しい活動の提案をお寄せ下さい。「ぎぼらんせ」の活動を通じてしばらくの間「ぎぼらんせ」でよろしくお願ひします。